

型材・鋳物門扉用オートクローザ 取付施工マニュアル



この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡ししてください。

注意事項

施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ・施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズを付けますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ・外開き時は、開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ・施工完了後は、扉の開閉チェックを行い不都合が無いか確認してください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意 セットピンは、オートクローザの調整作業までは絶対にはずさないでください。

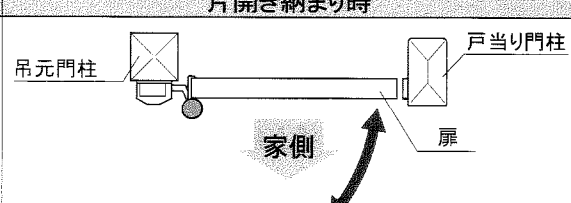
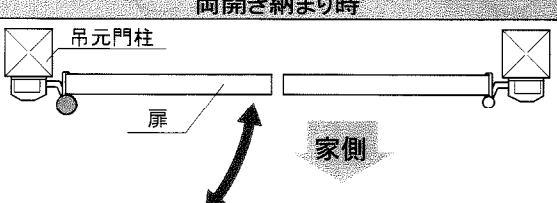
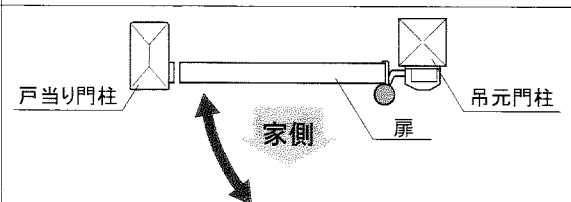
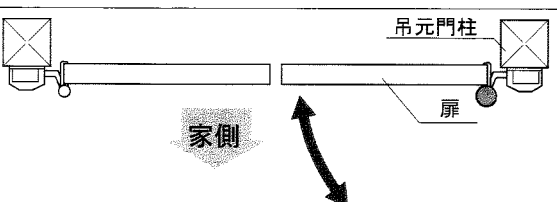
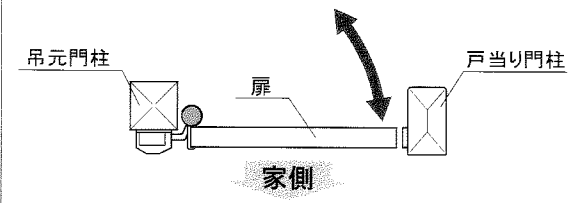
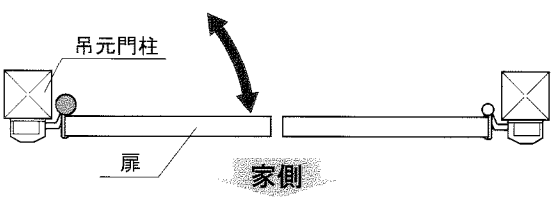
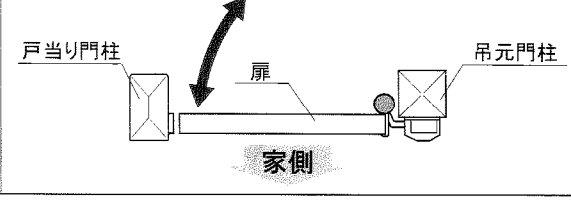
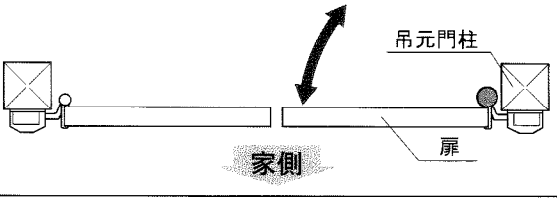
注意 開き角度が小さい場合（約30°以内）、商品の特性上閉扉速度が速くなる場合があります。指等はさまない様、ご注意ください。又、強風時に扉が風にあおられて扉が閉まりきらない事があります。

! この製品には外観視左右勝手があります。又、直付納まりは使用できません。

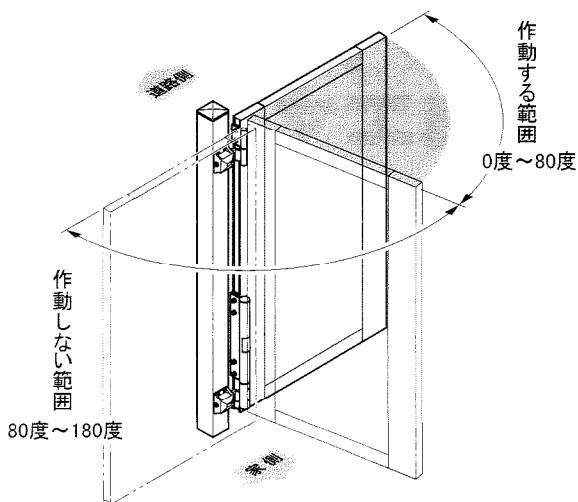
! オートクローザは、ラッチ錠・プッシュプル錠などの錠の場合のみ、取付けできます。内掛錠には使用できません。

勝手区分の確認

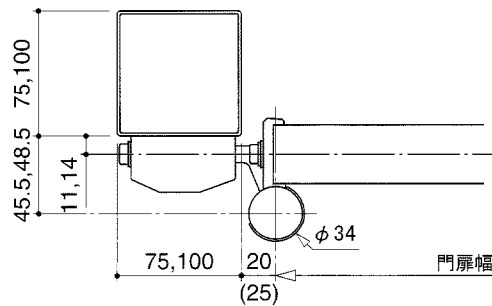
●.....オートクローザの位置を表します。

勝手区分		納まり区分	
		片開き納まり時	両開き納まり時
内開き時	右勝手(R) ●MES8KAR TMNT8KR●		
	左勝手(L) ●MES8KAL TMNT8KL●		
外開き時	右勝手(R) ●MES8KAL TMNT8KL●		
	左勝手(L) ●MES8KAR TMNT8KR●		

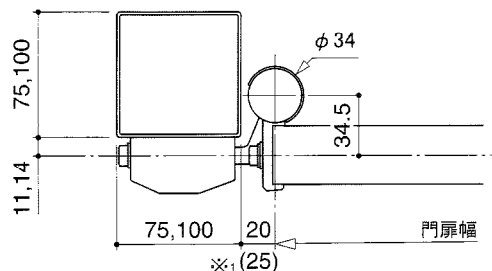
■納まり図 ※各図の説明は、外観視右勝手内開きとして表現しています。



内開き時納まり



外開き時納まり



※動作する範囲・動作しない範囲は、標準値です。ヒンジの調整により若干異なります。
※動作しない範囲内では、扉を任意の位置で止める事ができません

※ ()内の寸法は、鋳物用オートクローザの場合を表します。
※ 外開きの場合、100度程度までしか開きません。(動作しない範囲80度～100度)
⚠ ※1 の門扉と門柱のスキマが18(23)mm以上ある事を確認してください。18(23)mm未満ですと、オートクローザの取付けが出来ません。

■梱包明細

●開梱時に次の品物がそろっているか確認してください。
万が一欠品などがございましたら、お買い上げの販売店・もよりの営業所までお申し付けください。

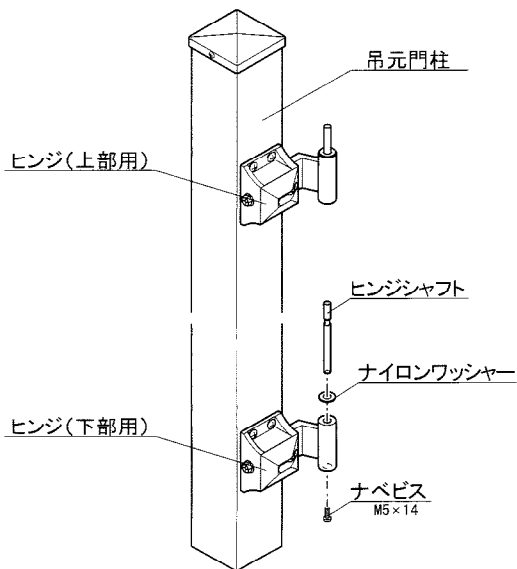
部品名称	数量		内容
	形材	鋳物	
オートクローザ本体	1	1	左右あり
ジョイント	1	1	M6×8六角六付止めねじ2コ付き 左右あり
キャップ	1	1	本体に取付け済
スプリングセット窓カバー	1	1	本体に取付け済
ねじ持ち	2		本体に取付け済
当て板		1	本体に取付け済

部品名称	数量		内容
	形材	鋳物	
M8×16六角ボルト	4		本体に取付け済 バネ座金取付済み
M8×30六角ボルト		4	本体に取付け済 バネ座金取付済み
セットピン	1	1	本体に取付け済
取付マニュアル	1	1	
取付工具セット	1	1	六角棒スパナ①(呼び4) スプリングセット棒② 予備セットピン③

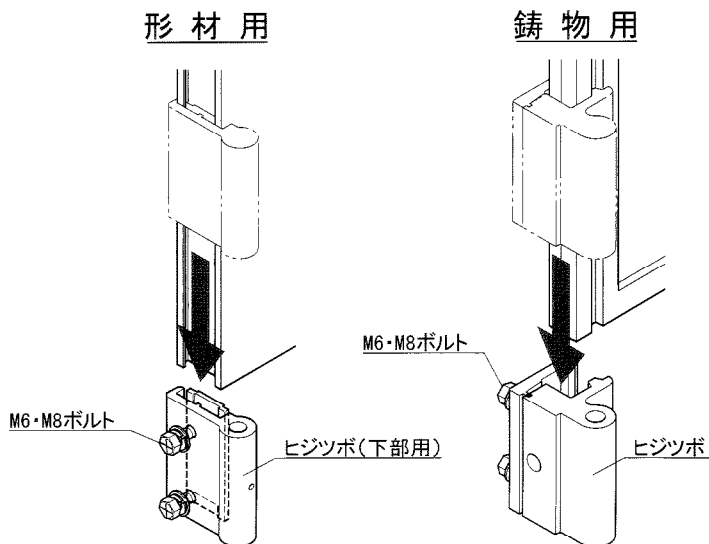
1 オートクローザの取付け準備

注意 ③の作業までは、スプリングセット窓カバーを外さないでください。
内側に付いているセットピンが外れ、初期値がわからなくなるおそれがあります。

●オートクローザ取付側の門扉をヒンジより外し、
下側のヒンジシャフトをはずします。

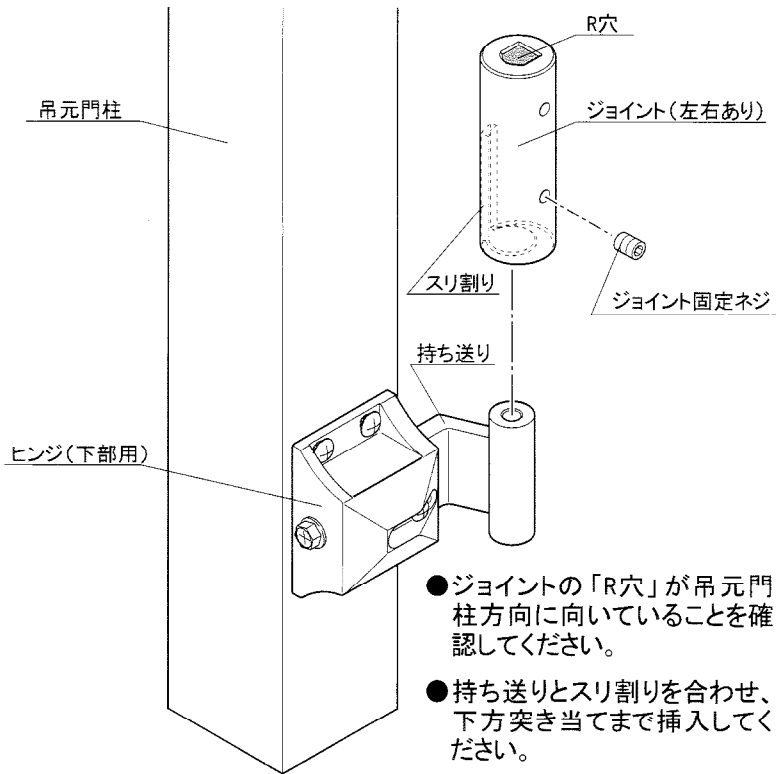


●門扉についている下側のヒジツボをはずします。
(オートクローザを後から取付ける場合のみ必要です。)



2 オートクローザの取付け

1 ジョイントをヒンジ(下部用)に取付けます。



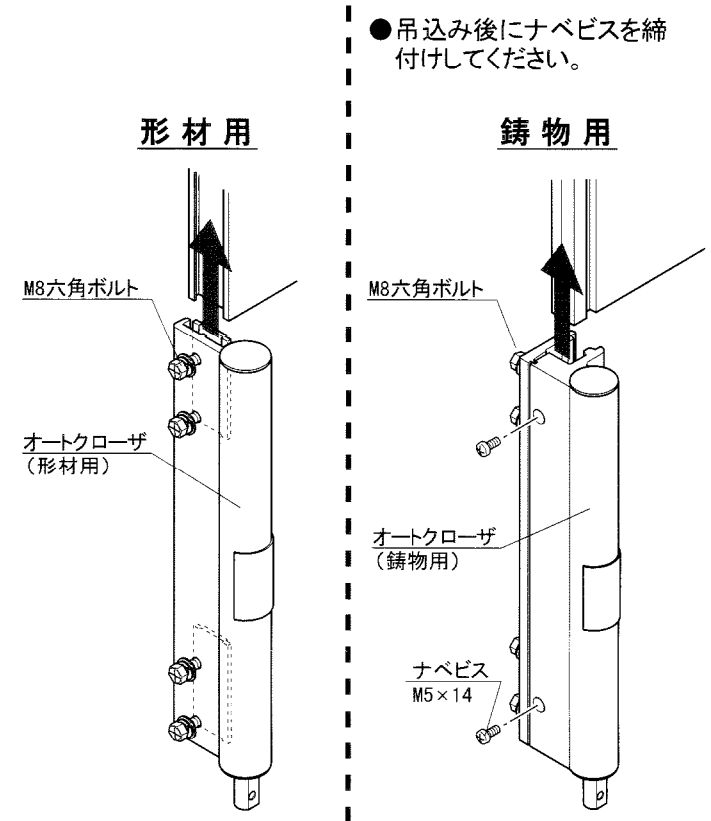
●ジョイントの「R穴」が吊元門柱方向に向いていることを確認してください。

●持ち送りとスリ割りを合わせ、下方突き当てまで挿入してください。

❗ ジョイント固定ネジは、付属の六角レンチで確実に締付けてください。(下側のみ)

2 門扉にオートクローザを取付けます。

- 工場出荷時に仮組みされていますので、先にM8六角ボルトを少しゆるめてください。
- 扉本体のミゾにオートクローザを挿入し、任意の位置に仮止めします。



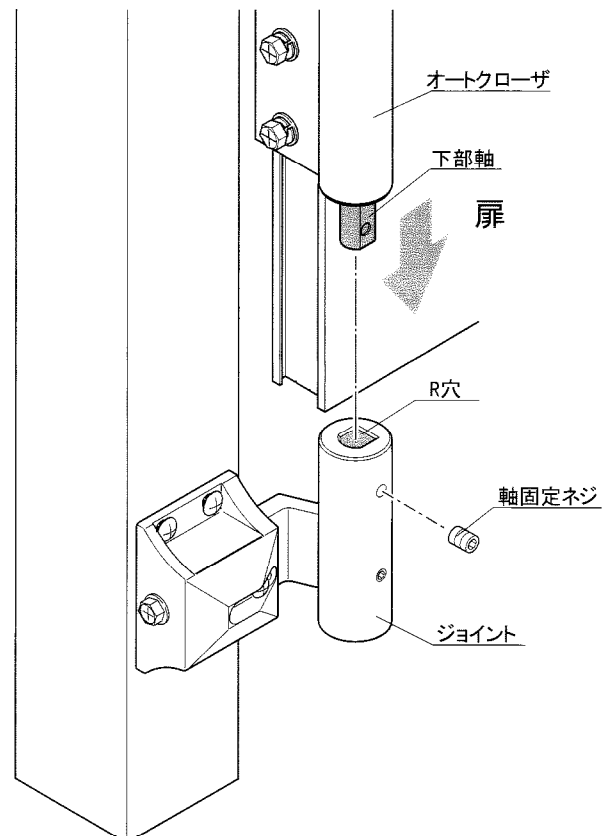
●吊込み後にナベビスを締め付けしてください。

3 門柱にオートクローザ付きの門扉を吊込みます。

- オートクローザの下部軸をジョイントのR穴に挿入し、軸固定ネジで締付けてください。

⚠ 注意 オートクローザの下部軸は、回さないでください。内部メカが空まわりし、破損するおそれがあります。

❗ 軸固定ネジは、付属の六角レンチで確実に締付けてください。



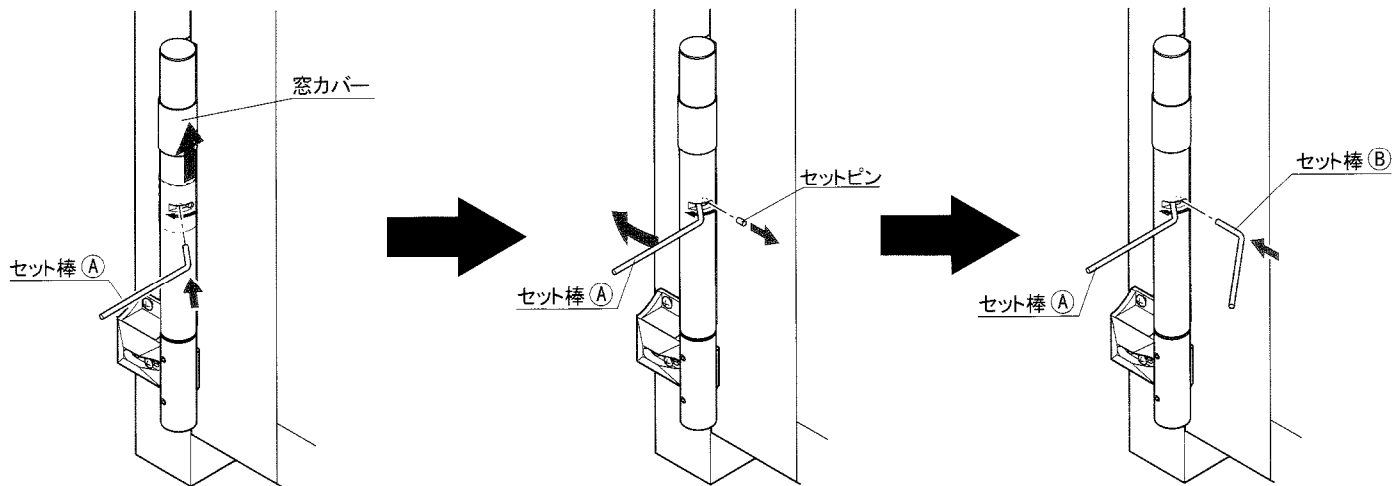
3 オートクローザの調整

❗ 一般ドア用のクローザと違い、取付け後にスプリングの巻き込み作業(調整)が必要となります。2本のセット棒を使用して巻き込み作業(調整)を行なってください。

① 窓カバーを上方へスライドさせます。セット棒(A)を空いている穴に差し込みます。

② 巻き込み方向に少し回し、セットピンをはずします。

③ セット棒(A)をしっかり支え別の穴にセット棒(B)を差し込みます。

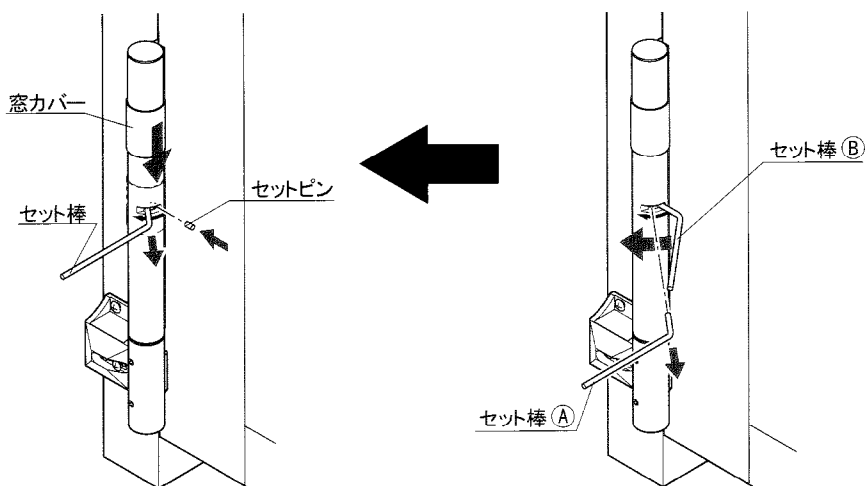


左下表の穴位置まで交互にくり返します。



⑤ 左下表の穴位置まできたらセットピンを差し込み、セット棒を抜きます。最後に窓カバーを戻します。

④ 先に差し込んであったセット棒(A)をはずします。セット棒(B)を巻き込み方向(矢印方向)にまわします。



注意 巻き込み作業は、下表を目安とし、セット棒挿入部分の赤印以上巻込まないでください。万一、セット棒を3オートクローザの調整の前にはずした場合は、この赤印の次が0目になります。ご注意ください。



巻き込みは、必ず矢印方向に行ってください。



注意 門扉の取り替え、又は調整等でオートクローザを取はずす場合は、逆の要領で必ずスプリングの巻き込みを元に戻してください。

適用門扉 サイズ巾(mm)	600 以下	700	800	900	1000	1100	1200
セットピンを 差込む穴		4コ目			5コ目		6コ目

4 開閉速度の設定

● 上部キャップをはずし、⊖ドライバーを使って閉扉速度設定を行ってください。

● 閉じ速度の目安としては、閉扉時間3~5秒に設定してください。

❗ 設定終了後は、必ずキャップをはめてください。

